

# 北部学園だよい

幼保連携型認定こども園 ほくぶ幼稚園 096-245-1096

2016.11.8.

立冬に入り、冬支度が始まりました。

今年も残り2か月を切りました。地震・大雨・台風ところによっては竜巻など、日本中をあらゆる天災が襲った年になりました。人としてどんな生き方をしたらいいのかも併せて問われた年になりました。

さて9月園便りで、大人もいくつになっても育ち合い と書かせていただきました。

今月の大きな行事「あそびっこ」の取り組みでもまた同じことがあります。

「あそび」の重要性は皆わかっていることですが、意外にその本質について考えたことってありません。

先日実習生から「大学でよく話すことですが、遊びから学ぶって園長先生はどう思いますか?」

ほくぶ幼稚園で「子どもたちがよく遊んでいる」と感じ、「子どもを見つめているとそのことを学べるのかな?」と考えていたのか、うれしい質問でした。

保護者の皆様いかが思いますか? 「子どもの遊びから学ぶ」という問いの答え、見つかりますか?

ほくぶ幼稚園の「あそびっこあそび」の行事はまさにそのことをわかるための行事ではないでしょうか。

## <考え悩む一人一役さん>((+\_+))

今係りの保護者の皆様と、担当職員が話し合っています。

保護者の皆様にも様々な思いがあり、「遊ばせる」ことに焦点が当たっているようです。

先日は、自らが遊んでみる「散歩に一緒に行き、え?知らなかった!!」という発見・体験を一杯されたようです。まさにそれも「あそびの心を学んでいる」ことですね。

係りさんとしては、

★「自然に関係する遊びを用意し子どもに遊ばせる」あそびかかり?

★「先生たちがこれを用意してといったものを準備する」あそびかかり?

★「散歩と一緒にしながら、自然物の遊び方を教える」あそびかかり?

★「働いているからできるだけ時間を取られない準備で、合理的に済ませる工夫をする」あそびかかり?  
こういった意見も含めて、改めてほくぶ幼稚園を選んで、入園された保護者の皆さんと考えていきたいですね。この行事を通して少しでも答えが見つかるうれしいと、園長としては強く思っています。

●「忘れてしまった子ども時代の心」を思い返し

●「意味があるのかわからないけれど、ひたすら遊びこむ面白さ」の感覚、自然の中にそのかけらがいっぱい残っていることを知り

●「ゆっくりと子どもと過ごす時間に身をゆだねる心を感じる」心地よさ

ネット社会にどっぷりつかってしまっている私たちの感覚を、一度リセットできるよい機会となるのではないか?

是非その企画をしている係りの皆さんにも、「楽しい企画の裏」には、それなりの苦労があることも学んでいただければと思うところです。(ここに大人の育ち合いの原則がありますね)

そしてそれは、学校に行ってからも大切な親の仕事かもしれません。

11月19日(土)は、園の周りの畑の皆さん、地域の自治会の皆さん、園の子どもたちのために、地域を自由に使ってよいとご協力いただいています。皆さんに感謝して、いっぱい遊びましょう。



↑年中 わ!玉ねぎ?

↓年長みつあみ縄跳びを作る



↓パンジーを植える遊び!?



朝9時からみんな元気!  
1歳さんも仲間に入れて



# 未満児コーナー

## 子どもの話し合いの始まり?..?

(田名)

0歳児



### 秋はきもちいい

秋の自然の心地良さを感じながら 0歳児さん 6名みんなとても元気です。畑の畦道で草に触れながらのんびりひなたぼっこ



1歳児  
「たべるよ! たべないよ!」



Rたべれるよ Mたべれないよ  
Rたべれるよ Mたべれないよ  
Tこうへい先生、玉ねぎの皮たべてみる?  
Kん~難しいけど食べてみる  
K Rちゃん食べるの難しい!!  
R .....



### わらべうたあそび

2歳児さんが楽しんでいるわらべ歌あそび  
この頃では、お船がぎっちらこもお友だちと繋がりに最高の遊びの一つです



2歳児



♪おすわりやーせ  
いすどっせ~♪  
あんいそぐと  
こけまっせ~♪ ~

5歳児

### 運動会を超えたことも達

《こうなりたい自分への挑戦ができるクラスへ》 ~一人の力とクラスの力~

クラスみんなの力と、一人一人の力が取り組みの中でどんどん高まっていき、当日を迎えた運動会でした。最初からそうではありませんでした。「のぼり板、むずかしそうだからやりたくない・・・」「跳び箱は、跳べないのを、見られるのは恥ずかしい・・・」という子ども達もたくさんいました。運動会の取り組みの中には、「リレー」「つなひき」というクラス全員で力を合わせていくものがありました。2クラスで対決していく中では、各クラスわくわくするような、そして、真剣な「話し合い」も何回も行いました。友達を思いやるような発言が多く出てきた仲間たち! そうした取り組みの中から、クラスのひとり一人が、より力をだせるような関係になっていったように思います。大きな節目となる運動会を終えた 年長さんは、今度は5色の布から、2色の3本を選び(1本3m30cm)三つ編みで編みあげていきます。布選びから始まるのですが、根気のいる活動になります。世界に1本しかない自分の縄跳びつくりです。布と向き合う真剣な姿 教えあう姿、友達が編みあがったのを、心から喜びあう姿が、6歳の就学前の年長の頼もしい姿です。(松村)

ある日のこと!!

お散歩から帰ってきた1歳児の2人の女の子・・・Rちゃん、Mちゃんうさぎ組の保育室テラスに干してある玉ねぎの皮に気付き、2人はぱらぱらと遊んだかと思うと手に持ちながら、食べれる食べれないの討論が始まった~

1歳児クラスでは、玉ねぎ討論の後、本物のたまねぎを給食室からもらい実際に皮をむいて見ることに・・・すると、皮をむき終えた真っ白な玉ねぎが見えた瞬間、なんとHくんがあ~あ~がぶりついたーー うあああああ~たべた~＼(◎o◎)／!  
みんなで口開いた びっくり!!  
Hくんは、満面の笑み  
こんなこともあります( ^o^ ) しあわせそうなHくんでした

## 年長さんの体験 五感を使って感動！

六

さんのおいしさ  
使って感動！

A woman in a black hat and pink dress is holding a small child. They are standing in front of a pink-themed exhibition booth with various displays and text in Japanese. The woman is smiling and looking towards the camera. The child is also smiling. The background is a pink-tinted photograph of the exhibition area.

A photograph of a person wearing a red cap and a plaid shirt, standing in a snowy environment. The image is overlaid with Japanese text in the upper left corner.

## 4歳児

『仲間との世界が広がってきた年中さん』

保育者に支えながら物事を進めてきた年少さんの頃から、少しずつ大きくなっている年中さんは、お友達との関係ができ、取り組めるようになってきている運動会でした。「体育遊び」で一人ひとりの力を發揮し、「玉入れ」では、クラス対抗で楽しみました。クラスみんなでの『話し合い』も経験し、子ども達の意見で作戦を立てました。クラスみんなが仲間だという気持ちもできてきているかと思います。

また、今年は、絵本「どろぼう学校」の世界に入り込んで、各競技を取り組みました。“仲間とともに想像の世界を広げていく”ことが、大好きな年代の年中さんです。子ども達の楽しそうな表情から、今後の遊びへの発展が楽しみです。さて、今後は「子飼商店街のお買い物」に行き、年中さんの商店街を、賑やかに楽しんでいくことになりますが、グループやクラスの友達と協力しながら、時にはぶつかり合いながら、仲間との繋がりが益々高められる活動になっていけたらと思います。

クラスのたくさんのおともだちとの「集団づくり・仲間とつながる力」を、この2学期に大きく広げていきたいですね。自分の喜びは友達みんなの中にいてこそ、もっと楽しくなるという体験ですね。(\*^▽^\*) (松村)



# 3歳児

# なかまといっしょがうれしい！



未満児から園に通っている子どもたちにとっては、1歳の誕生日が過ぎ歩けるようになると、「マテマテ」遊びや散歩で見つけた虫や花をしゃがみこんで指さし「アリさんだね」「きれいだね」「○○ちゃんみて！」「○○くんアリさんだね！」など保育者のことばに共感しながら、仲間と過ごすことが楽しい経験をいっぱいします。「○○ちゃんがすき」と手をとりつなごうとしたり、「キヤッキヤッ」と喜びあったり特定の友だちとの関係も育ちあそびを楽しめるようになります。もちろん、物の取り合い、取れないときのかみつきなども多く起こり「かして」「いいよ」「ありがとう」ときには「イヤ」もあり保育者は「○○はどう？」代替案もだしますが「イヤダ・イヤダ」と泣くこともあり「イヤだったね。○○ほしかったね」と子どもの気持ちを受け止めながら気持ちが切り替わるの待ちます。

さて、ほくぶの年少児クラスは、約半数の子どもたちが初めての集団生活の子どもたちです。

子どもが子どもの中で育つ時、保育者は？

## ～年少児クラスの集団づくり～ってなーに？

初めて集団生活に入った子どもたちは、おかあさんやおとうさんと離れる不安や戸惑いがあり「おかあさんがいい！」と泣いたり、登園を嫌がったりすることもあったと思います。当初は「○○ちゃんといっしょがいい！」と特定のともだちがいて安心して過ごしてきました。保育者との信頼関係そして子どもと子どもをつなぐ保育者の配慮があって、次第に友だちといっしょに過ごすことが楽しいと思えるようになります。年少児クラスは、自己主張同士のぶつかりが見られ、いろいろな場面と活動の中で子ども同士の思いが一致することばかりではありません。それぞれの思いの中で、受け止められ、認められる仲間づくり共感関係を大切にしたいと思っています。いっしょに簡単なルールのある集団あそびを楽しく経験し、運動会での玉入れなどのように行事を通して「みんなで楽しかったね」といっしょにする喜びを感じられると子どもたちの輪も広がっていきます。そして、運動会を過ぎた頃には、生活に必要な役割分担をお手伝いでしながら、2人組だけではなく4～5人の仲間と生活グループを意図的につくることで楽しさが増し「じぶんのためにする」から「みんなのためにする」関わりへとかわり、お手伝い当番からグループ当番活動へと発展していきます。これをほくぶ幼稚園では、子どもの自発的な心の育ちを待ちながら取り組んでいるところです。（副園長 木村）

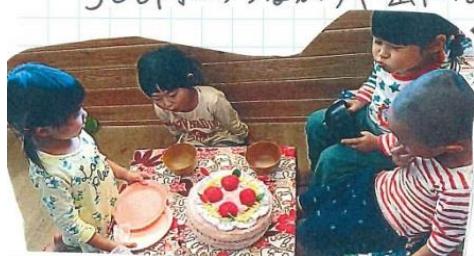
## 広がる集団あそび、つながる子どもの輪

登園して朝の準備を終えると、「お外に行ってきまーす！」と元気に園庭へと走り回る年少さん。最初は同じクラスのお友だちとおままごとやどう団子作りを楽しんでいた子どもたちも、今ではイヤのクラスのお友だちや年中・年長さんのお兄さんお姉さんと一緒に遊ぶ姿が見られるようになります。

その中でも子ども同士を自然とつなげてくれるのが“集団あそび”です。

しつぽ取りやへびちゃんけんなど簡単なルールのある遊びを通して、1つの遊びを一糸帯に楽しむ経験を繰り返す中で自然と子ども同士のつながりを深めてくれるのです。

子ども同士のつながりや密になっていくこの時特に三沢山の集団遊びを楽しめたいと思います。



←年少3クラス  
合同ごおま  
ごと遊び。  
この日は、遊  
会ミニ会を  
楽しんでいま  
す。



みんなでかたを合わせて  
トンネルを開通!!



←しつぽ取り  
を女の子チーム。  
男の子4人には  
分かれてしまひ。  
女の子、追いかけ  
ています!!  
大盛り上がり  
でいこ!!

みて

### ～事務局よりお知らせ～

【平成29年度現況届について】

11月21日より来年度の現況届の配布を致します。既に認定変更で2号の新規申込を提出された方も全員現在の認定での提出になりますのでよろしくお願い致します。※詳しくは、現況届の配布時にお知らせします

### ～お知らせ～

うさぎぐみの内田沙織先生が9月に入籍され、坂田沙織先生になりました。おめでとうございます♥  
披露宴は3月を予定されています。

